

## ① 教育行政について

3月議会で各部署で誇れる政策は何か、との質問に対して町長が代表して「第9次総合計画」であると、答弁があった。県や国あるいは報道機関その他から同じように問われ時、このような答弁で終わるのかと不思議である。「誇れる政策なし」「職員の人材不足」「答弁するな」のいずれか、あるいは全てに該当すると思われる。そこで教育行政について質問する。

(1) まず、長与町教育行政で誇れるものは何か。改めて質問する。

(2) 「人生100年時代」「健康・長寿」など、健康で長寿に関する問題が話題となっている。また、町においても「健康長寿」宣言を行うように計画されている。そこで、今、あるいはこれから子どもたちも健康・長寿という課題が発生すると思う。現在、取り組んでいるものは何か。また、今後の対策を考えているのか。行政の取り組みの例として、群馬県教育委員会では、1月に「小・中学校における生活習慣病予防対策基本方針」を公表し、平成30年度から子供の肥満対策を本格化させる。また、福岡市でも、地域と学校、医師会が連携し、ガイドラインを作成している(産経・2月6日)など情報がある。町としても独自性を発揮すべきと思うが、どうか。

(3) 小・中学校におけるクラブ活動の有り方が問われているが、本町ではどうか。取り組む姿勢は大事だが、行き過ぎは問題があると思う。

## ② 行政財源の確保について

行政運営で財源確保が大事であり、苦勞していると思うが、どのように取り組んでいるのか、以下質問する。

(1) 県や国よりの補助金なしでは成り立たないと思う。どう取り組んでいるのか。

(2) 自主財源の確保についてはどうか。

(3) ふるさと納税制度について

ふるさと納税制度が発足したときから危惧しているが、

(ア) この制度の目的は何か。是正勧告も出ている。

(イ) 出身地の捉え方はどうなっているのか。

(ウ) 本町における今後の展望をどう見ているのか、アップするのか低下していくのか。

以上、質問します。